



# 三木高大 自治会新聞

令和 2 年 1 月号 (No. 162)

発行 三木市高齢者大学学生自治会

発行責任者 自治会会長 松本 桂

編集者 自治会新聞編集委員会

発行日 2020 (令和2) 年 1月16日

<http://koureisyadaigaku.cccp.jp>



## 年頭の挨拶



明けましておめでとうございます。学生自治会活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。昨年は、自然災害が多発し防災に対する意識が高まった年でした。

一方、明るい話として、天皇のご即位に伴い元号が「平成」から「令和」に改まりました。これは、人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれる、という意味が込められているそうです。私達高大の標語「再び学ぶ 心は和気愛愛」と相通じるところもあり、心を豊かにもって、より充実した学生生活を過ごして頂きたいと思います。

さて、昨年の自治会活動を振り返ってみると、恒例の5大行事は天候に恵まれて順調に実施され、あとは大学祭を残すのみとなりました。

また、学外向け広報活動として、4つの施設から依頼があったボランティア活動には、多数の方のご参加をいただき施設からお礼の言葉が届きました。さらに、ホームページを最新のものに更新するとともに、年11回発行する高大新聞は、公民館にも配布しております。

昨年は、学生数の減少に対応して自治会活動の「簡素化、効率化、活性化」を目的に、TF委員会(TaskForce)を立ち上げ、自治会全般について、あまねく皆さまの意見を集め、検討をしています。まもなく皆さまにご提示が出来ると思います。本年度も魅力ある大学であるべく、努めていく所存です。昨年にも増して、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学生自治会長 松本 桂

## 大学運営委員会の報告

高齢者大学運営委員会が12月18日(水)に開催され、次のことを審議、決定していただきました。

【令和2年度の講座】令和元年度と同じく、1年間で教養課程は20回、専門課程は5学科で各16回の講座を開催する。

【入学式・卒業式】令和2年度の入学式から、大学と大学院合同で実施する。

【新入学生の募集】50名定員とし、先着順。受付期間は、1月21日(火)~2月28日(金)。令和2年4月1日現在60歳以上の市内在住者で、学生自治会活動に参加ができ、かつ、「地域活動に関心、意欲のある人」が対象。なお、令和2年度の募集から、本大学の卒業生も再入学できるようになりました。

【オープンカレッジの実施】高齢者大学への関心を持っていただくため、1月16日(木)と1月28日(火)の2回の講座日を「オープンカレッジ」として実施し、新入生の募集に繋げる。

教務主任 藤原 良一

## 12月の教養講座から

### 「工夫の巻き寿司で町おこし」

—女性も輝き地域も輝く—

《三木市男女共同参画センター出前講座》

講師 マイスター工房八千代 施設長 藤原 たか子様

「人よし 味よし 笑顔よし」「田舎のコンビニへようこそ」「母ちゃんの作る田舎の味」 マイスター工房八千代のキャッチフレーズを中心に持ち時間いっぱい休憩なしにお話をされました。受講生も楽しく、真剣に聞き入っていました。37才より多可町の地域活性化に没頭し、今後は農業振興にも一役買いたいとできる限りの活動を約束されていました。



講義内容は、マイスター工房八千代（女性・高齢者等活動促進施設）の起業化への取り組み、誕生等の経過、そして活動経過へと進みその中身は盛り沢山ですべて興味津々でした。

その中でも、工夫の巻き寿司は特に興味のある話でした。①建物を見捨てない②食材を見捨てない③生ゴミを見捨てない④人を見捨てない⑤こんな田舎でも捨てたもんじゃない、などの5つの「見捨てない」はマイスター工房八千代のモットーです。

看板商品の巻き寿司に使用できないきゅうりや椎茸の切れ端など、生ゴミに出す部分を利用した寿司を開発しラインナップを増やしています。さらに人を見捨てない、就労の場を作り、仕事も生活も楽しく潤いのあるものにしたい、などの考え方には感動しました。

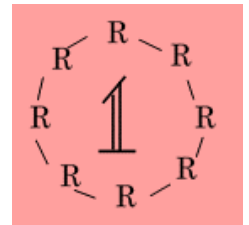
「良い話を聞いた」で終わるのでなく、藤原講師のように地域に貢献できることは何か、と考えると身が引き締まる思いです。ありがとうございました。

2年2班 柴田 利夫

## 学年通信（1年生）

### — 輪から絆へと —

4月に入学したあと戸惑いもありましたが、行事も終盤にさしかかり残すところ大学祭のみとなりました。これまでの行事を振り返ると、思い出深いのが体育祭と研修旅行です。体育祭ではフォークダンスをし、昔を懐かしみながら心和む時間を過ごしました。またソーラン踊りでは、振りを覚えることができずに自宅での練習を重ね、皆に迷惑をかけたくない思い



で本番を迎えました。一生懸命取り組んだ踊りは、来客の方々を楽しませることができたのではないかと思います。紅白玉入れは童心に返って楽しみ、簡単に入ると思っていた玉もなかなか入らず、もどかしい思いもしました。どの競技も団長の声に応えるべく汗を流し、大きな声と太鼓でエールを送り、最後まで大いに盛り上がりました。このように盛り上がった体育祭は、応援幕作りから始まり、応援タイムの行進、ソーラン踊り、応援エール等準備から本番まで、1年生全員が協力し合い取り組んだことで、自然と交流の和が生まれ、良い関係が築けてきたように思います。

研修旅行においても車中では、カラオケやビンゴゲームで盛り上がり、和気あいあいとした中、更なる交流の輪が広がり、良い雰囲気となっている1年生です。私たち1年生の愛称は「元気はつらつ」です。輪を描いたロゴのようにワンチームとなって協力し助け合い、元気はつらつとした毎日を送りたいと思います。

1年2班 林 慎二郎

## ひろば



入社して配属されたのは、製造・建設部門でした。その年に宇治市の天ヶ瀬発電所に3ヶ月従事したあと50年余り、主に海外の発電所建設・試運転で20年近くを過ごしました。

今回は1978～79年に過ごしたメキシコでの水力発電所建設でのエピソードです。日本からは私を入れて2人、メキシコ側は約700人の大所帯。ある日サッカーチームのキャプテンが来て「若いチームなのでユニフォームが揃っていない。セニオールがパトロンになって買ってほしい」。私「う～ん、では10連勝すればOK」。キャプテン「試合の応援に来てほしい」。私「了解」したものの遠征が多く2～3時間掛かりもザラ・・・。ところが3ヶ月もすると「10連勝達成した。ユニフォーム20着新調したい」と私の1ヶ月の出張手当が消えました。



その後チームは「あの変わったユニフォームのチームは強い!!」と言われながらシーズン優勝を果たして、キャプテンが優勝盾を「パトロンに捧げます」と持って来ました。あの変わったユニフォームを着たメンバーが上記の写真です。青地に前面丸い白抜き、中央には我社の真っ赤なロゴマークです。結果的には立派な民間大使を務めました。

1年近くで私の交代者が着任して、彼らが川岸の大きな木の下でお別れのバーベキューパーティを開いて、最後に「ラスゴロンドリナス(つばめ)」を大粒の涙を流しながら合唱してくれました。「別れても又会える」が主旨だそうです。でも一日過ぎればコロッと忘れて笑顔にもどる陽気なメキシコ人、いい思い出になりました。

3年4班 渡邊 洽

## 大学祭のご案内

新年あけましておめでとうございます。

“今年は、どんな出会いがあるのでしょうか？” 昨年の流行語年間大賞は、ONE TEAM(ワンチーム)でした。さて、高齢者大学全校行事も大学祭をもってファイナルを迎えることとなりました。この言葉通りに高大生ワンチームとなって記憶に残る行事になればと思っています。あるテレビ番組で言っていたのですが、年を重ねると毎年月日の経つのが早く感じるのは、ハラハラドキドキ、ときめきが無くなってくるからだそうです。

大学祭の演技及び展示で、その“ときめき感”を味わって頂き、ゆっくりとした時間を楽しめれば最高の行事になると思います。

行事の概要は以下の通りです。

2月22日(土) 9:00～12:00 会場設営等準備作業

13:00～15:00 作品展一般公開

2月23日(日) 9:40～10:00 式典

10:05～15:00 演技・作品展一般公開

皆さんのより一層のご協力をよろしくお願い致します。

大学祭実行委員長 3年4班 川坂 成真

# ク ラ フ 紹 介

## ターゲットバードゴルフクラブ

ターゲットバードゴルフは狭い場所でゴルフの醍醐味を楽しむために考案されたスポーツです。

ゴルフクラブ1本でシャトル(プラスチック製のバドミントンシャトル)を打つのですが、狭い場所のスポーツなので、フェアウェイ(3~6m)が狭く正確なショットが必要になります。またカップは高さ40センチ位に開いた傘状の籠にシャトルを浮かせて入れる難しさがあります。初めはショットのコントロールと最終の籠入れに戸惑いますが、要領を覚えるといいスコアが出て気分よく回れます。



ゴルフと同じでハンディキャップを付けるのでベテラン、新人共同し条件で楽しく競技できます。日頃の練習の成果は、年間数回開催される競技大会で思う存分発揮できます。

部員数は、56名(女性19名)で、在校生9名、OB47名です。

活動日 毎週月曜日(祝祭日、休館日は休み) 9時集合 12時頃まで

場 所 ホースランドパーク ミオの森(道の駅の南側)

在校生の皆様の体験プレーを募集しています。ご連絡ください。

ターゲットバードゴルフクラブ部長 4年2班 多鹿 善己

## 囲碁クラブ

囲碁史上最年少プロ、初段、10歳、女性……誰のことだか分かりますか？今年4月にプロ入りして、国内棋戦で男性棋士に6連勝中と大活躍している中邑 堇(なかむら・すみれ)さんのことです。10歳の女の子が大人の棋士を相手に真剣勝負で勝利する。痛快です。



「囲碁には興味があるが、難しそう」という話をよく耳にしますが、多くの子供達が囲碁を理解し、楽しみ、中にはプロの一流の棋士となっています。いわんや高大生には当然です。心配ご無用！まずは挑戦を！

囲碁はボケ防止に効果があると言われていています。頭を活発に働かせ、同時に打つために手を動かす、更に、感情の変化も伴うことです。勝った時の喜び、負けた時の悔しさ、ミスをした時の自分への怒りなどが交差し心が揺れ動く、それも若さを保つ要因だと言われていています。

活動時間は、毎週金曜日研修室1で13時から17時まで(自分の時間に合わせ自由に対局ができます)。女性部員の方もメキメキと上達されています。初心者として入部、三木市の大会での1勝を目標に努力してこられた結果、昨年10月の大会で念願の1勝をあげ、目標を見事に達成されました。



脳の働きを活発化させる囲碁、体を動かすスポーツ、心身の健康を維持するための両輪です。部員一同、囲碁クラブへの入部をお待ちしています。

囲碁クラブ部長 3年2班 原 学